

会員（地域福祉協力金）募集

【長久手市社会福祉協議会ってなに？】

長久手市社会福祉協議会では、子育て世代をはじめ、高齢者・障がいのある方、生活にお困りの方の相談窓口を設置しております。

多くの事業については、長久手市から委託を受けて運営をしておりますが、裏面にあるような、市内で起こっている困りごとに関する事業については、みなさまからの会費や寄付を活用し運営しています。

みなさまからの温かいご支援・ご協力をお待ちしております。

福祉のなんでも 相談窓口

- ・どこに相談したらいいかわからない。
- ・ひきこもりについて
- ・引っ越してきたばかりで知り合いがない

など

CSW

(コミュニティソーシャルワーカー)



高齢者に関する 相談窓口

- ・介護や健康のこと
- ・認知症のこと
- ・生活に役立つ市の事業のこと
- ・権利を守ること

など

地域包括支援センター



障がいに関する 相談窓口

- ・障がいの関係で不安なこと
- ・親亡きあとの生活はどうなるかな？
- ・福祉サービスの利用について知りたい
- ・難病で困っている

など

障がい者相談支援センター



ボランティア・ 福祉教育に関する 相談窓口

- ・趣味や特技を社会に役立てたい
- ・地域の活動を支援するボランティアが必要
- ・障がいや高齢者などの福祉教育を学びたい、広めたい

ボランティアセンター



災害時の生活再建 に関する相談窓口

- ・自宅の片づけ、掃除などのボランティアニーズの受付
- ・ボランティアの派遣

など

災害時ボランティアセンター

生活のお困りごと に関する相談窓口

- ・収入がなくなって家賃が支払えない
- ・失業した
- ・障がいや病気、家族の問題で仕事ができない
- ・電気・ガス・水道が止まりそう
- ・お金が無くて、食べるものがない

くらし・しごと・つながり
支援センター

会費の用途は裏面をご覧ください。

金額：一般会員（地域福祉協力員） 500円（一口）

加入方法：本会窓口・職員へお渡しいただくか、自治会を通じてご加入いただくことができます。

社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会 住所：長久手市前熊下田171

TEL：0561-62-4700

休館日：祝日を除く月曜日（祝日の場合、翌平日）



HPIはこちら

このような事業に活用しています♪

本市の平均年齢は40.2歳（2020年国勢調査）と全国平均を大きく下回り、若い街として、また、住みたいまちランキングでも上位に入り、人気の高いまちだと思います。しかし、団塊のジュニア世代が高齢となり始める2040年以降は、高齢化、人口減少の課題が深刻化することが予想されます。また、今後、南海トラフ地震等の大災害や社会的孤立に伴う孤立死等の課題を乗り越えるためにも、地域での『つながり』が重要と捉えています。

そこで、長久手市と本会は、介護、障害福祉、子育て支援、生活困窮者支援といった各分野の横断的な相談体制を整備し、「生きづらさ」を抱える人を地域で支え合えるまち、「住みたいまち」から「住み続けたい」と感じるまちづくりへと動きだしています。

地域福祉協力金は 血縁、地縁、社縁といったつながりが希薄になっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える仕組み作りに活用しています。

集いの場支援



高齢者の方がいつまでも元気で健康に過ごし、孤立感を感じることなく生きがいをもって生活できるように、身近な場所で過ごすことのできる集いの場（サロン活動）の創設・運営継続の支援をしています。

体操・茶話会・多世代交流など内容も充実しております。
現在47カ所♪

福祉車両貸し出し支援



買い物・移動難民にある住民の新たな移動手段として、ボランティアの方で運行する【おでかけあなたの車】を一部地域で試験運行しています。

利用者・運転ボラさんのお声♪

「車内で、他の利用者さんや、運転ボランティアさんとの会話が生まれ、それもうれしい」（利用者のAさん）

「車内での利用者皆さんの会話を聞きながら楽しく運転させていただいています」（運転ボランティアAさん）

認知症普及啓発



認知症になっても、地域で安心して生活できるように、VRを活用し、認知症の当事者の方が見えている世界、感じている世界を体験することで、認知症に対する正しい知識を普及啓発しています。

参加してみたの感想♪

「介護している時に見ていたら、接し方や対応方法が変わっていたと思う！早く見たかった。」

「これまでは、周りを困らせていると思っていたけど、これを体験したら本人も困っていたことがわかった。」

ボランティア団体等の活動支援



市内の身体障がい等のある方の団体（長久手市身体障害者福祉協会）、戦没者の家族の団体（遺族会）、障がいのある子どもがいる家族の会（希望の会）、その他市内で活動するボランティア団体の活動費を助成しております。

その他、福祉に関する情報の発信を行う広報誌の発行、福祉を身近に感じられる福祉まつりの開催など、普及啓発活動を行っています。